

2019 男子バレーボール国際親善試合 日本対中国 取材規約

報道関係の皆様には支障なくご取材いただくために、下記の要領にて取材・報道体制を整えています。ご一読の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、取材に関しましては、スポーツ報道としての取材を対象としております。スポーツ報道以外の取材はお断りいたします。会場内での取材活動については、当日の連絡事項ならびに下記の要項に著しく逸脱した場合、取材をお断りすることもございますので、ご了承ください。**本大会は事前申請のみとさせていただきます。**

■取材者

- * スポーツ報道としての取材を目的とした方
- * 取材申請の際に掲載予定媒体の責任者の了解を得た方
- * 日本バレーボール協会が取材者として適当と認めた方

■アクセシティーション

- * 上記に該当し、取材申請を受諾された方は、大会会場への入場を許可します
- * 入場を許可された方は、プレスアクセシティーションカード(以下 AD カード)をお渡しします。照会用に、提出した申請書のプリントアウトをお持ちください。大会会場内においては、AD カードの着用が義務付けられます
- * スチールカメラと ENG カメラの方にはカメラマンビブスをお渡しいたします。撮影中はカメラマンビブスの着用が義務付けられます
- * 会場の取材スペースに限りがあるため、取材申請の件数によりましては入場制限をさせていただく場合がございます(例:各日、1社につき記者1名・カメラ1名など)
- * 取材規約に反した取材者、AD カードや申請書の貸与・譲渡など不適切な使用を行った取材者、その他、主催者が不適切と判断した取材者に対しては、AD カードを没収の上、今後、日本バレーボール協会主催・主管・後援大会への取材をお断りする場合があります

■アクセスエリア

- * プレスワーキングルーム: この大会に用意はございません。電源、インターネット回線の準備もございません。各自でご準備ください。また荷物、貴重品は各自で管理してください
- * 会場内スチールエリア: 本大会の取材許諾を得たスチールカメラは、会場内スチールエリアからの撮影が認められています。当日の指示に従ってください
- * 会場内 ENG エリア: 会場内 ENG エリアは当日の指示に従ってください
※各社ENG1台(台数が多くなった場合は系列局も含めてご調整いただく場合があります)
- * 会場内記者席: 本大会の取材許諾を得た記者は会場内記者席からの取材が可能です。原則として、記者以外の着席が禁止されております
- * ミックスゾーン: マッチコートと選手控室の間に設置されるミックスゾーンでは試合終了後約10分間、希望を受けた選手や監督が取材に対応致します
- * 記者会見、インタビュールームはございません

■写真、映像など撮影素材について

- * 本大会で撮影された写真、映像などは、この大会に関わる報道に限定し、事前に申請された媒体以外で使用することを禁止しております。使用を希望される場合は別途申請の必要があります。許可なく写真や映像を使用した場合、今後の取材をご遠慮いただくことがあります。
- * 本大会で撮影された写真を雑誌や WEB サイトに掲載する際には、必ず撮影者の氏名を明記してください。掲載状況を確認するため、本大会で撮影された写真の掲載雑誌は必ず、下記あて先までご提出をお願いします。
- * 申請だけして掲載報告がなかった場合は、次回以降の取材をお断りすることがあります。

【あて先】

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-30-8 ダヴィンチ千駄ヶ谷内
公益財団法人日本バレーボール協会 広報部
press@jva.or.jp

- * 本規約の趣旨に反した場合、または国際バレーボール連盟ならびに日本バレーボール協会の権益を侵したり、特定の個人を根拠もなく誹謗・中傷したりなどバレーボール界にとって不利益なる活動を行った場合は、対応策を協議するとともに、今後の取材をお断りする場合があります。ただし、正当な取材を尽くした上での「言論の自由」を冒とくするものではありません。

■AD カード・カメラマンビブスの発行および回収について

- * AD カードとカメラマンビブスは当日配布・回収とさせていただきます。係員から受け取り、取材終了後はお返却ください。紛失した場合、再発行は致しません。実費を請求致しますのでご注意ください。